

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなる	百貨店（購買担当）	・店は6月の子ども手当の支給に向けた対応をしているが、客はその使い途を貯蓄や塾の経費にと考えており、難しい状況は変わらない。しかし、天候に左右される客の動向も定着しており、気温の上昇に伴う夏物衣料の売上を期待している。	
		競艇場（職員）	・7月には記念の企画もあり、集客が見込まれる。	
	やや良くなる	商店街（代表者）	・客からも営業サイドからも子ども手当の話が弾んでおり、状況がやや良くなる。	
		百貨店（販売促進担当）	・4月の売上は、全体的に上向いている。一般的に景気の上向く要素はないが、景気の長期低迷のなかで、客の「そろそろ」という意識変化による購買意欲と、気温の上昇で、春夏物の売上増加に期待している。	
		スーパー（店長）	・前年、前月比で客単価及び来客数が上昇傾向にある。月ごとに実績が伸びていることから、今後も持ち直しの状況が続く。	
		スーパー（総務担当）	・高価格の商品に動きが出てきており、客の意識に変化が生じている。	
		スーパー（販売担当）	・子ども手当の支給が消費意欲を向上させる。	
		乗用車販売店（統括）	・補助金の期限である9月までは前年を上回る。	
		乗用車販売店（統括）	・今後景気が良くなる要素はないが、景気が悪いといいながらも、さほど生活に影響のない人も多く、悪い状況にはない。	
		乗用車販売店（販売担当）	・新車購入補助金の駆け込み需要が見込まれる。	
		その他専門店〔海産物〕（支配人）	・販売単価は上昇しないが、団体客を中心に客数が多少増加している。	
		一般レストラン（店長）	・販売促進券などのサービスで、来客数が昨年と比べて増加している。	
		都市型ホテル（スタッフ）	・ゴールデンウィーク等の宿泊の予約が早くから入り始めた。子ども手当の影響もあり、家族旅行に出かける余裕が出始めている。	
		タクシー運転手	・運賃値上げが客の理解のもと円満に行われ、売上が増加したことで、運転手も改めて客への充実したサービスに心がけるようになっており、短期間で状況が良い方向に大きく変化している。	
		タクシー運転手	・今後は、夜の飲食店の状況は変わらないものの、工事関係の動きが出ているほかに、観光への期待がもてる。	
		テーマパーク（業務担当）	・高速道路料金改定で、良い効果が期待できる。	
		テーマパーク（管理担当）	・来客数が増加している。	
		住宅販売会社（経理担当）	・景気対策の効果は、今年一杯は続くが、更なる景気対策も必要であり、デフレの克服で収益性は回復する。	
		変わらない	商店街（代表者）	・不動産市況も悪く、客の対応が非常に慎重であることから、消費に関しては現状のまま推移する。
			商店街（代表者）	・シャッター通りといわれてから、現状を打開する決定打になるものは出てきていないが、小さな動きは出てきており、これからの期待したい。
商店街（代表者）	・消費者は、新政権への期待に対し、変化がないことへの不安感がある。また、マスコミ等の情報により、ますます悪くなるといった受け止めをしている。			
商店街（代表者）	・軽衣料中心の動向に変化がみえない。			
一般小売店〔靴〕（経営者）	・地元商店街では、空き店舗の増加、解体が進んでおり、商店街での客の購買意欲に悪影響を及ぼしている。			
一般小売店〔酒店〕（経営者）	・製造業を中心とした回復の動きがあるが、地方の小さな町にはその実感はない。しかし、重苦しい雰囲気は薄れてきている。			
一般小売店〔紙類〕（経営者）	・観光客の商品購入は活発であるが、地元での生活用品等の買い控えが続いている。			
一般小売店〔酒店〕（営業）	・天候不順は別にして下げ止まり感はあるが、地方経済は疲弊しており、浮上するきっかけがみつからない。			
百貨店（営業担当）	・一部高額品の動きが出ているが、地方の厳しさは変わらず、現在の状態が続く。			

百貨店（営業担当）	・ 婦人服に関して、客は一定期間着用でき、機能性、汎用性のあるものを求めており、今後大きな消費の回復は見込めない。
百貨店（販売促進担当）	・ 今後夏商戦が本格化するが、ファッションの低迷が続けば影響が大きく、景気回復は期待できない。
百貨店（販売担当）	・ 今月同様、気温により客の購買動向が大きく左右されるため、セール期に入っても冷夏であれば、厳しいセール商戦になる。
百貨店（売場担当）	・ 都心部を中心に景気は回復しつつあるが、地方においては依然として厳しい状況が続いている。今後燃料価格の上昇等もあり、家計の節約・儉約ムードも継続する。
スーパー（店長）	・ 良くなる材料が見当たらず、このままの状態がしばらく続く。
スーパー（店長）	・ この2～3か月は実績が大きく改善する要因がない。
スーパー（経理担当）	・ 引き続き日常の買い控え傾向は続いており、回復要因が見当たらない。
スーパー（管理担当）	・ 来客数の伸びは変化がなく、売上についても前年比96%前後で推移しており、今後の天候の影響も含め厳しい状況が続く。
コンビニ（エリア担当）	・ 消費者は、以前に比べ生活の厳しさに対する意識がやわらいできている。
コンビニ（エリア担当）	・ 天候が例年通りなら変化はないが、冷夏などの気象変化があれば影響は大きい。コマーシャルを行った商品を中心に、店で工夫を行っている。
衣料品専門店（店長）	・ ガソリン価格の値上げも懸念され、客は遠出を控え、近隣の店で「ウィンドウショッピング型」の消費行動を行っている。
衣料品専門店（地域ブロック長）	・ 子ども手当には大きな期待がもてず、消費の起爆剤にはならない。また、アイスランドの火山噴火の影響もあり、今年は冷夏が予想され、夏物衣料の消費に影響が出てくる。
家電量販店（店長）	・ エコポイント制度が延長となったが、薄型テレビの単価の低下が顕著であり、大幅なプラスは期待できない。
家電量販店（店長）	・ 天候不順もあり、消費者の心理も湿りきっている状況である。
自動車備品販売店（経営者）	・ ETCの反動を除いても客数は少なく、現状の販売促進施策での変化はない。
乗用車販売店（営業担当）	・ 補助金延長の効果が出ていない。対象となる客は増加しているが、期待していたほどではなく、現状のまま推移する。
乗用車販売店（サービス担当）	・ 良くなるという実感が全くない。業界には逆風が吹き荒れている。
その他小売店〔ショッピングセンター〕	・ 客単価が引き続き低下している。
その他専門店〔時計〕（経営者）	・ 政府のエコ減税などの政策では、本格的な景気浮上につながらない。雇用確保、行政改革を早急に進め、将来の生活設計ができるような社会構想を打ち出せば、景気は上向く。
その他専門店〔布地〕（経営者）	・ 子ども手当や公立高校の授業料無償化の執行で、多少景気は上向く。
高級レストラン（スタッフ）	・ 今後の予約状況は不透明だが、現状どおり推移する。
一般レストラン（店長）	・ 来客数の下げ止まり感がある。
スナック（経営者）	・ 客単価の低下が続いており、利益率の低い取引を行わざるをえないことから、消費の拡大は期待できない。
その他飲食〔ハンバーガー〕（経営者）	・ 新商品をアピールする等、現状の客単価を上昇させるための工夫をしているが、不透明な状況が続いている。
観光型ホテル（スタッフ）	・ 良くなる傾向も特に感じられない。
観光型ホテル（経理総務担当）	・ 個人消費に回復の動きはあるが、夏のボーナスを削減する地場企業もあり、夏のレジャーを控えることが予想される。
都市型ホテル（総務担当）	・ 宴会等の予約状況が悪い。
タクシー運転手	・ 横ばいと落ち込みの繰り返しが続いており、業界での取組みもあるが、現状並みで推移する。
通信会社（社員）	・ 通信サービスへの新規加入等の問い合わせ件数に変動が出ておらず、販売量等の増加は見込めない。
通信会社（総務担当）	・ 新生活期の需要の反動で、今後消費は落ち着いて推移する。

	通信会社（企画担当）	・地上波デジタル化に伴い、受像機の購買は進んでいるが、一方で単価が更に低下しており、売上額の増加は難しい状況である。	
	通信会社（広報担当）	・政府主導の金融政策が行われなければ、変動しない。仮に実施されても地方に影響が出るのは更に先と考える。	
	通信会社（営業担当）	・客の動きも出ているが、企業で通信費用を削減する案件が多く、全体として良くなるとは考えにくい。	
	ゴルフ場（営業担当）	・3か月先の予約数は例年並みである。しかし、複数予約したもののなかから、ニーズにあったものを選ぶよう、客の予約方法が変化している。	
	美容室（経営者）	・今の政治状況で、先行きに対する不安が広がっており、集客に向けた取組みも効果が期待できない。	
	設計事務所（経営者）	・業界には明るい話題が少なく、3か月先の見通しも今は期待できない。	
	設計事務所（経営者）	・6月から建築許可の手続きが簡素化されるが、景気が上向くほどの効果は期待できない。	
	設計事務所（経営者）	・全体的に様子見傾向で、景気の回復する方向にはない。	
	設計事務所（経営者）	・良くなる要因が全くない。	
	住宅販売会社（従業員）	・来客数、受注件数ともに多少持ち直し傾向にはあるものの、客自体の行動は引き続き慎重であり、単価等の伸びない状況が続いている。	
	住宅販売会社（販売担当）	・住宅版エコポイント制度への客の関心が低く、受注の増加につながっていない。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・今後も先行きの見通しはなく、厳しい状況が続く。子ども手当の支給に期待する声もあるが、それほどの効果は期待できない。	
	一般小売店〔茶〕（経営者）	・買い控えの傾向が続いている。	
	百貨店（売場担当）	・取引先から人件費をはじめとするコスト削減の要望が強く、売場を運営しにくい状況にある。	
	コンビニ（エリア担当）	・今年は低めの気温が予想されることから、ソフトドリンクやアイスクリームの動きが悪くなり、売上が低迷する。	
	コンビニ（エリア担当）	・売上の前年割れが続いており、底がみえない。	
	コンビニ（エリア担当）	・良くなる材料がなく、今以上に客単価の下落が継続する。	
	衣料品専門店（経営者）	・今後も気候の変動が消費にとって悪い影響を与える。	
	衣料品専門店（経営者）	・良くなる見込みがない。	
	衣料品専門店（販売促進担当）	・価格を優先する客が多く、買物に出かける頻度も低いという話が多いことから、節約志向が顕著な状況である。	
	衣料品専門店（地域ブロック長）	・客単価の低下傾向が継続している。	
	その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（支配人）	・6月からの高速道路料金が値上げになった場合、これまでの反動で厳しい状況となる。	
	都市型ホテル（経営者）	・客室、レストランの予約が、前年と比較して5ポイント程度減少して推移している。	
	都市型ホテル（従業員）	・宴会の5～7月の予約状況が、例年同期と比較して減少している。	
	通信会社（通信事業担当）	・新年度の需要期にもかかわらず、新規の加入は低調で、今後も回復が見込めない。	
	美容室（経営者）	・景気が良くなる材料が見当たらない。	
	悪くなる	スーパー（店長）	・当店が入っている店舗や近隣の商業施設から撤退を表明しているテナントが今後も多くあり、景気の回復は望めない。
		スーパー（財務担当）	・個人所得の改善がみえず、消費者の節約志向は続くことで、売上は減少する。
住関連専門店（広告企画担当）		・今後も現状のまま推移する。	
旅行代理店（営業担当）		・上海万博も客の動向が不透明であり、景気回復の材料が乏しい。	
美容室（経営者）		・今後大きな状況変化もなく、景気が良くなる状況にはない。	
企業動向関連	良くなる	輸送用機械器具製造業（経営者）	・一部の製造業が上向いて推移しており、また、夏に向けてジュース等の食品関係で受注が増加している。
	やや良くなる	木材木製品製造業（経理担当）	・個人所得の安定感には至らないが、景気底打ち感や円安感等がある。

		鉄鋼業（総務担当）	・国内状況は懸念されるが、アジアを中心に海外輸出は堅調に推移している。
		通信業（営業企画担当）	・設備投資の導入があり、短期的な回復が見込まれる。
変わらない		農林水産業（従業者）	・全般的には減少傾向だが、青魚やイカ等の漁が増加しており、今後の水揚量に期待している。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・大口案件の引き合いもなく、生産出荷の水準は現行水準並みで推移する。鉄鋼業向けは回復しているが、各自治体向けゴミ焼却炉需要は低調である。
		鉄鋼業（総務担当）	・鉄鋼は、国内需要で自動車や家電など製造業を中心に回復している分野はあるものの、建設や設備投資関連等では回復が遅れている。しかしながら、海外需要では中国やアジアを中心に、自動車や電機向け需要が堅調なものの、なかなか先行きが見通せない状況にある。
		非鉄金属製造業（経理担当）	・全体・各分野ともに受注動向は不透明である。
		一般機械器具製造業（経営企画担当）	・国内市場は回復に向かっているが、海外市場は依然として厳しい状況が続いており、回復の兆しがみられない。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・自動車関連は先行き3か月好調な受注があり、派遣社員約20名を採用して対応している。エアコン関連も引き続き高水準の受注が続いている。
		電気機械器具製造業（広報担当）	・現行水準を維持する受注がある程度見込める。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	・受注は中国にけん引されるものの、欧州の景気回復のテンポは緩慢である。特にドイツ向けの製品受注量は補助金等の政策効果の反動で大きく減少している。
		建設業（経営者）	・企業の設備投資意欲の回復とともに、業界の状況は好転する。
		建設業（経営者）	・業界の状況は底のまま横ばいで推移している。今後特段の変化も見込めない状況で、倒産は少ないが廃業が増加している。
		輸送業（統括）	・5月は単月受注を獲得したが、3か月先については不透明である。
		輸送業（運送担当）	・景気回復につながる起爆剤がなければ、回復は見込めない。
		金融業（業界情報担当）	・中国での販売増加が当面続き、北米も緩やかながら回復していることから、売上は緩やかな回復基調で推移する。
		金融業（営業担当）	・取引先の売上は前期比マイナスの状況が続いている。景気回復も一部で伝えられるが、経営者からのヒアリングでは、いまだ末端まで景気回復の兆しがみえないとの発言が多い。
		会計事務所（職員）	・5月は連休もあり、例年どの業界も売上は減少するが、今年はそのに加え、年度末の債務関係の経理処理に対する不安がある。
	やや悪くなる		食料品製造業（業務担当）
		食料品製造業（総務担当）	・商品の事故があって、客の信頼度が落ちていることから、一時的には販売数量が伸び悩む。
		金属製品製造業（総務担当）	・受注価格の値下げ、原材料価格の高騰により収益悪化が懸念される。米国の大手金融機関の破たん前は原材料価格が上昇した場合、製品価格にある程度は転嫁できたが、現在は得意先自体も価格を下げて受注しており、製品価格への転嫁は難しい状況である。
		不動産業（総務担当）	・閑散期となるため、来客数・成約件数は減少する。
悪くなる		一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量の回復が見込めない。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・6月以降、親企業の値引き要請に応じた影響が生じてくる。
		その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	・政治、経済ともに国内の明るい材料はなく、一部の低価格衣料商品のみが好調であり、通常の販売は不振が続いている。
雇用関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報サイト運営（支店長）	・企業の採用の復調傾向が続いている上に、2011年新卒採用を取りやめていた企業から、2012年新卒採用復活の声も聞かれる。
		職業安定所（職員）	・パート求人が、前月比、前年同月比ともに増加しており、パートを中心に求人意欲が高い一方、パート以外の一般求人は厳しい状況が続いており、求人状況は今後パートを中心に緩やかに回復する。

	民間職業紹介機関（職員）	・人材を求める企業は増加している。必ずしも採用に結びつくものではないが、状況の変化がうかがえる。
変わらない	人材派遣会社（支店長）	・今後3か月は前年並みの状況である。
	人材派遣会社（営業担当）	・例年であれば、各業界の「夏需要」に備えるための派遣依頼が増加する時期であるが、各社の自社採用のみで人員充足となる可能性が高い。逆に、人材紹介事業は、一部の企業・職種で採用意欲が高まってきているものの、転職時期を先送りにする求職者も多く、マッチングに時間を要している。
	求人情報誌製作会社（担当者）	・企業サイドは様子見の状況である。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・地元の輸出関連業は順調に推移している。多くの経営者には、一時の悲壮感はなく、底を脱出したという認識が急速に広まっており、新聞社の広告出稿にも動きがではじめた。しかしながら、消費動向は鈍く、不況感を払拭するには更に時間を要する。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・県内の製造業、非製造業ともに数値的には業績が改善しているが、小売業の採用に不透明感が続いている。
	職業安定所（職員）	・受注の回復により、徐々に求人意欲が高まりつつあるが、正社員求人は少なく、大半は非正規等の臨時求人となっている。
	職業安定所（職員）	・製造業関係の雇用調整が行われ、今年度の生産計画を踏まえ、前年度を若干上回って推移している。
やや悪くなる	-	-
悪くなる	-	-